

黒井健

絵本原画の世界



『手ぶくろを買いに』 偕成社 ©ken kuroi/ KEN OFFICE, 1988

2016 6.4sat - 7.2sat 桐蔭学園アカデミウム ソフォスホール

開館時間 = 10:30-17:30 (最終入館 17:00) / 日曜休館 / 入場無料

主催 = 学校法人桐蔭学園 企画制作 = オフィス渋谷

お問い合わせ先 = 桐蔭学園アカデミウム 神奈川県横浜市青葉区鉄町1614 TEL.045-975-2100 <http://toin.ac.jp/ma/>

バスでのご来場をお願い申し上げます。東急田園都市線 市が尾・青葉台各駅、または小田急線柿生駅から桐蔭学園行きバスで約15分



『ごんぎつね』 偕成社 ©ken kuroi/ KEN OFFICE, 1986

黒井健

絵本原画の世界



『ころわんはおにいちちゃん』 ひさかたチャイルド ©ken kuroi/ KEN OFFICE, 1986



『ハナミズキのみち』 金の星社 ©ken kuroi/ KEN OFFICE, 2013

黒井健 (くろいけん)



1947年新潟生まれ。新潟大学卒業後に上京、出版社で絵本の編集に携わる。25歳のときフリーのイラストレーターとして独立。1976年に初めての絵本『あめってあめ』(矢崎節夫・作)を出版。主な作品に、『ごんぎつね』『手ぶくろを買いに』(新美南吉・作)、『イーハトヴ詩画集 雲の信号』(宮沢賢治・詩)、『ころわん』シリーズ(間所ひさこ・作)、画集『ミシシッピ』など。2003年山梨県清里に「黒井健絵本ハウス」をオープン。2006年第20回赤い鳥さし絵賞受賞。現在、神奈川県川崎市に在住。

「黒井健 絵本原画の世界」開催にあたって

学校法人桐蔭学園 理事長 平岩 敬一

絵本画家、黒井健さん。代表的な挿絵作品として、新見南吉の『ごんぎつね』がよく知られています。絵本で刊行されてから30年経った今もおベストセラー、心に残る一冊に挙げる方も多いことでしょう。

黒井さんは色鉛筆やパステルを使った独自の技法で、これまで200冊以上の絵本や画集を制作してきました。宮沢賢治の詩や童話、パール・バックの短編小説、東日本大震災の遺族が執筆した『ハナミズキのみち』、絵本「ころわん」シリーズ、また最近では小学2年生の国語の教科書に掲載されている『わたしはおねえさん』(「すみれちゃん」シリーズ)の挿絵など、実に幅広い分野で活躍されています。本展では画業生活43年を迎えた黒井さんの軌跡を、約90点の原画とともに振り返ります。

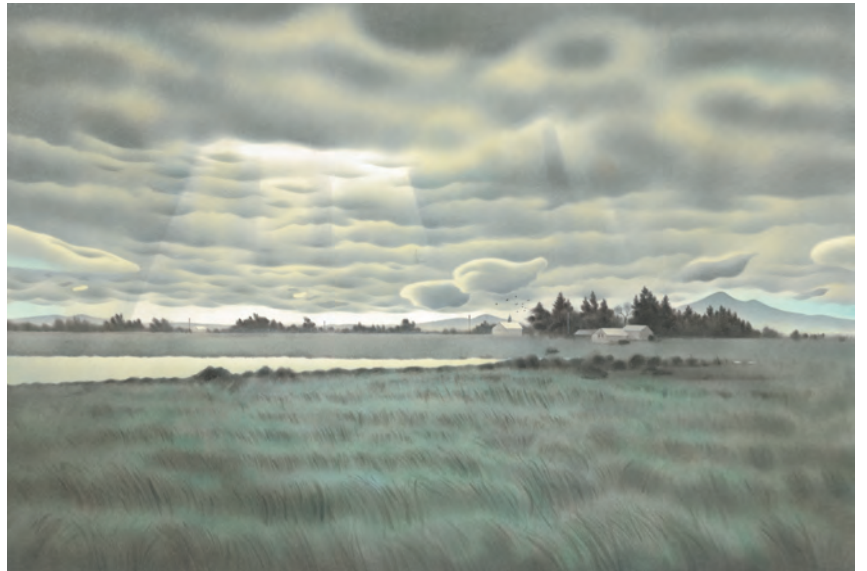
黒井さんは“文章に寄り添って描く”ことを大切にしています。作品を手がけるにあたって、物語を何度も何度も読み込んで、共感できる部分を探すことから始めるそうです。たとえば、『手ぶくろを買いに』に出てくる狐の親子。チラシのオモテ面の絵は、母狐が子狐に手ぶくろの買い方を教えている場面です。初めて町へ買い物に行く子狐の緊張感や好奇心、母が子を心配する気持ち……。感情やかすかな心の動きが、やわらかなタッチで丁寧に描かれています。

色の濃淡を巧みにあやつり、幻想的な世界を生み出している風景画も見事です。厚い雲の切れ間から降り注ぐ光芒、田植えが済んだばかりの水田に映り込む初夏の風景。絵本の画面におさめられた景色から壮大な空間の広がりを感じられます。

黒井さんはあるインタビューで、子どもたちが物語と接するとき、“物語の結論を「これが正しい」と教え込もうとしても心には何も届かない。大事なのはどんな感じ方も否定せず、それぞれの感受性を認めてあげることだと思う”(*)と、話しています。

桐蔭生のみなさんには、黒井さんの美しい原画を物語とともに楽しみ、自由に感じ、それぞれの感想や考えを持ってほしいと思います。そして豊かな感性や想像力が育まれることを期待します。

*新学社ホームページ「OF TALK」より



『イーハトヴ詩画集 雲の信号』 偕成社 ©ken kuroi/ KEN OFFICE, 1995

桐蔭学園アカデミウム 交通のご案内



各駅からのバスのご案内

- 東急田園都市線
青葉台駅よりバス「桐蔭学園前」行、終点。または「市が尾駅」行、「桐蔭学園前」下車
市が尾駅よりバス「桐蔭学園前」行、終点。または「青葉台駅」行、「桐蔭学園前」下車。または「柿生駅北口」行、「桐蔭学園入口」下車
 - 小田急線
柿生駅よりバス「桐蔭学園」行、終点。または「市が尾駅」行、「桐蔭学園入口」下車
- タクシーご利用の場合
東急田園都市線 青葉台駅、または小田急線 柿生駅からが便利です。行き先は「桐蔭学園 鉄(くろがね) 神社前」とお伝えください。
※駐車場はございませんので、お車での来場はご遠慮ください。